

**リスキング総合診断システム開発業務
公募型プロポーザル選定委員会審査に係る評価基準**

評価項目	評価の視点	係数	評価点	点数
1. 業務実績及び実施体制				
これまでの業務実績	・ 同種又は類似業務に関する実績やノウハウが豊富であるか。	3	6	18
業務実施の体制	・ 本業務の目的・内容に応じた適切な実施体制（責任者、開発メンバーの専門性、人員配置、役割分担等）となっており、業務を確実に実施できる体制が構築されているか。	3	6	18
	・ 開発スケジュールは、適切かつ現実的なものであるか。			
2. 具体的な実施内容				
業務の趣旨理解	・ 提案内容が、本業務の目的及び内容を的確に理解し、それに基づいたものであるか。	2	6	12
システムの基本要件	・ 【システムの形態等】 仕様書に基づき、適切なサービス・技術等の選定がなされているか。	2	6	12
	・ 【セキュリティ対策】 ISMS認証に加え、ISMAP登録、ISO/IEC 27017等の認証取得状況及び仕様書記載の情報セキュリティ要件への対応方針が具体的に示されているか。	3	6	18
	・ 【システム機能の網羅性】 仕様書に基づき網羅的に提案されるとともに、各機能の実現方針、操作性、連携性も考慮されているか。	4	6	24
UI/UX・ウェブアクセシビリティの設計思想	・ 利用者が直感的かつ迷わず操作できるような画面設計とユーザビリティが考慮されるとともに、適切な操作ガイダンスやエラーメッセージの表示等、利用者のストレスを最小限に抑える工夫が示されているか。	3	6	18
	・ 「JIS X 8341-3:2016」の適合レベルAAへの準拠方針が明確であり、具体的な対応策が示されているか。			
運用保守体制	・ システムの安定稼働維持、データバックアップ、リソース・機能稼働監視、アラート機能に関する具体的な運用体制が示されているか。	2	6	12
	・ システム障害時における対応体制、連絡体制、復旧計画が具体的に示されているか。			
	・ 仕様書に記載された運用保守業務（稼働監視、セキュリティ監視、ログ管理、脆弱性対策等）が網羅的に考慮されているか。			
3. 自由提案				
自由提案の具体性・有効性	・ 基本要件に加え、業務の目的達成に資する創意工夫ある提案があるか。 ・ 提案内容が、具体的な効果（定量的・定性的）、実現可能性、導入スケジュール、費用対効果とともに具体的に記述されているか。	2	6	12
4. 所要経費				
予算及び費用の内訳	・ 提案された費用が、業務内容及び品質に見合った妥当な金額であり、費用の内訳が明確かつ適正であるか。	1	6	6
評価値合計（150点満点）				150

※採点基準（6段階）

6：非常に優れている 5：優れている 4：やや優れている 3：普通 2：やや劣っている 1：劣っている

・各委員の評価値の合計が満点の6割に満たない参加者は、失格とする。

・全委員の評価された項目のうち評価項目「具体的な実施内容」に係るいずれかの項目において、

委員2名以上から「劣っている」という評価があった参加者は失格とする。